

原本番号 平成 六年民 第一四 号の一

速記録

平成 六年 九月 五日
第 六 回 口 頭 弁 論

事件番号	平成 六五四 (ワ)(ク)(ワ) 第 三四九 三七三 五一 号	原告本人 氏名	李 順 徳
------	--	------------	-------------

原告ら代理人(李)

甲第一号証を示す

- 1 これを見て下さい。
 読めません。
- 2 先日、私達弁護士の事務所で、話を私達にしてくれましたね。
 そうです。
- 3 そのときの通訳はだれですか。
 イクムチさんです。



4 今、ここのごどこにいるか指してくれますか。

(原告代理人席後部に座っている中の一人を示した)

5 この陳述書に書かれてあることを読んで聞かせてもらいましたか。

よく聞きました。

6 その内容は、あなたが話したとおりのことですか。

そのとおりです。

7 韓国語で話して聞かされましたか。

そのとおりです。

8 あなたが上海に連れて行かれる前のあなたの生活について聞いていきますが、あなたが生まれた家はどこですか。

イーリーシのモヒョンドです、これは~~全~~羅北道にあります。

9 そのときのあなたの家の職業は何ですか。

出稼ぎに行きました、貧乏でございましたので、向こうで雇われて一年二年と

10 いうように、賃金を得ながら生活をするのです。

暮らしぶりはどうですか。

苦しいから出稼ぎに参りました。

11 何人家族でしたか。

お父さんとお母さんと弟と本人と、四人家族です。

12 どのような家に住んでましたか。

わらぶきのちっちゃい小屋のような家で、泊まる部屋が一つ、ご飯を炊く炊事場が一つで生活しました。

13 学校には行ったことがありますか。

行っておりません。

14 李順徳さんは、そのころ、日ごろ何をしてましたか

お父さん、お母さん、出稼ぎに出ますから、家の中で家事を全部切り回りました。

15 あなたが上海に連れて行かれたことについてお伺いします。

どうぞ。

16 あなたが上海に連れて行かれたのは、いつのことですか。

春です、春で、よもぎ摘みのときだと思えます。

17 何才ごろでしたか。

数えの一九才です。

18 連れて行かれる当日、あなたは何をしましたか。

畑に行きまして、よもぎを摘んで、夜の夕食の準備をしようと思っていました。

そして、男に引っ張られて行きました。

19 引っ張って行った男の人は、どんな人ですか。

当時の女性でなかなか男の顔は見られません、恥ずかしゅうて、よく顔を存じ

上げませんが、四〇才ぐらいじゃないかと思えます。

20 その男の人は、あなたに何か話をしましたか。

きれいな服も買ってあげて、それで、靴も買ってあげて、食べるものを腹いっぱい食べさせるから、私に付いて来いと言われました。

21 それで、あなたは付いて行ったんですか。

もう、おなかすいてたまらない、ケットウチュウでございましたので、腹いっぱい食わすという、そのことについて付いて行きました。

22 両親にはそのことを話をしなかったんですか。

せめてお父さんあるいはお母さんに、一言言ってきますのでと言うたら、その男性から、もう時間がないから早く行こうということ、手を引っ張られました。

23 引っ張られて行くときに、何か、お父さん、お母さんに話をして行くから、待ってくれとかは言わなかったんですか。

せめてお父さん、お母さんに一言あいさつしようと思って懇請したわけなんですけども、時間がないから急ぐと言って、半ば引っ張られて参りました。

24

それまで、男の人にそうやって手を取られて引っ張られるようなことがありましたか。

ありません、初めてでした、とにかく怖くてぶるぶるえておりました。

25

その男にどこに連れて行かれたんですか。

イーリーという所の旅館に連れて行かれました。

26

最初連れて行かれた所から、どのぐらいの時間かかりましたか。

約一時間ぐらいかかりました。

27

それは歩いて行ったんですか。

歩いて参りました。

28

その旅館に着いたら、そこには、だれかほかに人がいましたか。

行ったところが、私と同じような年齢の娘たちが一四人おりました、私が入っ

て一五人になりました。

29

その日はその旅館に泊まったんですか。

その娘たちと一緒にその日はその旅館に泊まりました。

30 あなたはそのとき逃げようとしなかったんですか。

逃げようと何回か試したんですけれども、もう外から錠がかかっておりまして逃げられませんでした。

31 その翌日は何がありましたか。

軍人らしいのが三人みえまして、駅まで連れて行かれました。

32 その軍人は日本人ですか。

日本の軍隊でした。

33 どうしてその人達が軍人だと分かったんですか。

その旅館でささやかれました、あれは軍人だと言われて分かりました。

34 その男の人達はこういった格好、服装をしていましたか。

黄色いような、多分国防色だと思いますが、服を着まして、ゲートルを巻き、腰にはサーベルを着けておりました。

35 その軍人の人達にどうされましたか。

とにかく、文句言わずに早く行くということで、ただ、向こうに付いて行くだけでした。

36 どこに行きましたか。

それから列車に乗りまして、三日間ほどかかりまして、降りた所が大きな町だったです、で、男達がこれは上海だと言われて、上海で何かと、本人は全然知らなかったそうです。

37 上海行きの汽車は、どの駅から出たんですか。

イーリーの駅から出ました。

38 最初に泊まった旅館からはどのぐらいの距離ですか。

約三〇分ぐらいかかりました。

39 歩いてですか。

歩いています。

40 上海に着いてからはどうしましたか。

上海駅を降りましたらトラックに乗せられまして、しばらく行ったら、テントがたくさん張っていて、兵隊さんがたくさんおりました、それは軍隊か何か、どこかも全然知らなかったということですよ。

41

そのトラックと一緒に乗って行った人は、どういった人達が乗ってましたか。

三人の兵隊さんのうちの、一人は運転台に座りまして、二人は荷台に同じく娘たちと一緒に乗りました。

42

トラックの後ろ、荷台には、あなたと娘さんたちが乗せられたわけですか。

一五人と兵隊さん二人です。

43

トラックは、あなたたちを乗せてどこに行ったんですか。

しばらく、けっこう遠い道に行きました、行ったら、とにかく兵隊さんがたくさんおりました、びっくりしました。

44

兵隊さんがたくさんいた所は、何か建物が建っていましたか。

そこに降りたら、正直言って、あまりにも小さいテントの中で、もう汚いとい

う一言に尽きました、もう、雨は降る、雪が降ったらそのまま降り込むという
ような状態で、まさに人間が寝るような部屋じゃなかったと、本当に汚い部屋
でした、そちらに閉じ込められました。

45

兵隊さんがたくさんいる所には、何か建物はあったんですか。

ずっと、相当離れた所に大きなテントが張られておりましたが、当然のこと、
そちらに行くことできません、ずっと奥のほうには、かさの大きなテントが張っ
ておりました、そこにみな軍隊はおったと思います。

46

李順徳さん、あなたは、そのテントの所からどこに連れられて行ったんですか。

そのテントの中だけです、どこにも行かれませんでした。

47

兵隊さんたち、軍人たちがたくさんいるテントと、あなたが連れて行かれたテントとは
別のものですか。

兵隊さんたちは立派な大きなテントで、中にたくさん入っておりました、私達
は本当に小さい小屋の中で、点々と離されまして、本当に汚い部屋でしたけど、

そこにみんな点々と一人一人入れられました。

48

あなたが入られたのは、テントではなくて小屋ですね。

あれは家と言えない、小屋と言ったほうが、テントじゃなくて小屋ですね、あれは家ではありません。

甲第三号証を示す

49

これがあなたが入られた小屋の図ですか。

こういうものです、これです。

50

小屋に入られて何がありましたか。

最初にミヤザキという少し年配の方がみえられて、三日間その男性と一緒に寝ました、当時は、触ったりしたものですから、いやだって、怖くてふるえて逃げ回ったんですけど、何も怖がることにならない、何もないから、ないからと言って抱きついてきました、結果的には、もう力負けしてしまいました、抱かれてしまいました、その方がミヤザキさん、三日間連続して参りました。

51

ミヤザキというその人は、こういった服装をしていましたか。

大きな刀を下げました、星が三つありました、靴も軍靴で、長い靴を履いておりました。

52

で、そのミヤザキの相手をさせられたあと、何がありましたか。

正直言って、恥ずかしくてよく言えません、あとはもう兵隊さんがいっぱい来ましたが、ただ、恥ずかしくて、今思っただけでもたまらなくなります。

53

あなたがその小屋でさせられたことは毎日のことですか。

もう、どんどん来まして、特に日曜などはもっともっと数が増えて、毎日毎日継続して参りました、普通の日には八人とか九人ぐらい来ましたけれども、日曜とかそういう休みの日には、多いときは十七、八人も来たと思います。

54

毎日、何時ごろから、そういうことがあるわけですか。

大体朝九時ごろから始まりまして、五時ごろまで続きます、夕方の五時です。

55

兵隊たちはサックを使いますか。

56

サックを使いました、私はそれがサックとは全然知りませんでしたから、それを風船と間違えまして口で吹いたら兵隊さんから止められました、それは口で吹くものじゃないと言われて、いろいろと後で知りました。

そのころ、何か注射とかは打たれませんでしたか。

最初に行って二日間は六〇六号という注射を毎日されました、あとは、大体二週間ぐらいに一回ずつ、六〇六号という注射をされました。

57

それが何の注射であるか知ってましたか。

韓国の兵隊さんもおりまして、聞きましたら、この六〇六号というのは、もちろんあとで知りましたけれども、これを打ったら子供ができない避妊の注射だということ、韓国の兵隊さんから聞きました。

58

その注射はだれがするんですか。

注射を打ってくれる方は朝鮮の人です、いつも同じ人でした、部隊の中で打たれました。

59

部隊の中。

はい。

60

軍隊の。

軍隊の中です。

61

その注射を打つ人は、軍服を着てましたか。

着ておりました。

62

軍服には星が付いてましたか。

何か、黄色いような、布のようなものに、丸いのが二つ付いて、お医者さんのような気がいたしました。

63

注射をされた以外に、検診、診察を受けたことがありますか。

何もございません。

64

兵隊さんの人から、お金や軍票をもらったことがありますか。

何もございません、絶対ありません。

65 お風呂はどうしてたんですか。

その裏側にちょっとした池のような、たまり水があります、それにバケツでくんで来まして、自分の小屋の中で体をふきました。

66 食事はどうしてましたか。

兵隊さんたちが決まった時間に持って参りますと、その小屋の窓の外に置いて、鐘を鳴らして、食事だという合図だそうです、それを手で取り入れて食事しましたが、正直言って、おなかがすいてたまりませんでした。

67 食事は毎日決まった時間にできたんですか。

食事を持って来て鐘を鳴らします、ところが、兵隊さんが中でひっついているものですから、食事をしようと思っても、自分が先だということ、用が済むまで食事がされなかったそうです、今度は、その食事に一定の時間がたちますと、そのままみな持って帰ってしまうので、欠食したことがままあります、本当におなかがすいたこと、今でも思っております。

68 今、李順徳さんは日本語が分かりますか。

年を取ったせいでしょう、ほとんど忘れてしまいました。

69 日本語は少し覚えていましたか。

当時は少ししゃべりました。

70 どうやって日本語は覚えたんですか。

兵隊さんたちから習いました。

71 兵隊さんたちから習う前は、日本語は分からなかったんですか。

全然分かりませんでした、昔は旧式でしたから、早く言えば古い時代ですから、ろくに男の人の顔さえ見上げることできない時代でしたから、存じません。

72 その小屋では、あなたはどのような名前と呼ばれていましたか。

ミヤザキさんから、おまえはカネコだという名前を付けてくれたので、カネコと呼ばれました。

73 あなたがいた小屋は、あなたのいた小屋一つだけだったですか。

ほかの娘さんたちとは相当離れた所に一つ一つ小屋が作ってあったので、顔を見ることもしゃべることもできませんでした。

74 じゃあ、その小屋から逃げることはできなかったんですか。

75 あなたにカネコという名前を付けたミヤザキという人は、あなたに対してどういった態度をとっていましたか。

田舎で育って、当時は男の顔もろくに見たことないのに、ミヤザキさんなりい
ろんな兵隊さん来ましたけれど、そういうふうにもともに見られないから、ど
ういう印象とか、どういう言葉ということはよく覚えておりません、ただ、恥
ずかしさだけでした。

76 そのミヤザキさんはあなたに親切にしてくれましたか。
親切にしてくれました。

77 あなたは上海で飛行機に乗ったことがあるんですか。

ほんとに、とんぼが飛ぶようなちっちゃい飛行機で、ミヤザキさんと一緒に乗りました、あんまり怖くてミヤザキさんに飛び付いておりました、すぐ降ろしてくれということで、ほんのわずかだけ乗ってすぐ降りました。

78

そのミヤザキさんは、ずっとその上海にいたわけですか。

私に来たことだけはよく知っていますけれども、それが長くおったか短くおったか、それは存じ上げません。

甲第四号証を示す

79

この写真はあなたですね。

間違いないです。

80

この写真は、弁護士の山本さんが撮った写真ですね。

そうです。

81

この写真、おなかの所に傷があったり、背中の中真ん中に傷がありますが、これはいつ頃できた傷ですか。

私以外の人は受けるなと言ったのに、ほかの兵隊と寝たということ、刀を抜いて背中を切り付け、頭の毛を引っ張り、ける、胸からはらから相当けられましたが、大変ひどい目に遭ったんです、全然、もうそのときは気絶してしまい、半ば死んでしまいました、そのあとはどうなったか分かりません。

82

そのけがは治療してもらいましたか。

気が付いてみたら、兵隊さんたちが治療しておりました。

83

そのけがでどのぐらい、直るまで時間かかりましたか。

若かったせいでしょう、五日から大体直り、一週間には一応起きられました、それは若いからだったと思います。

84

また、起き上がることができてからも、男の人の相手をさせられたんですか。

直ったとたんに、列を作るようにして次から次へ入って参りました。

85

今、その傷の状態はどうですか。

今もずっと痛んでしようがありません、特に雨の降ろうとする日、あるいは、

86

雨の降る日などは、めまい、ふらふらし、足はぐらつく、背中の傷、ふるえて歩けないんです、それから、けられた胸、腹など、うずいてしようがないんです、それが平日ずっとそのとおりであって、私は小さいときから、お母さんにびんた一つぶたれたことはありませんでしたから。

あなたが上海から韓国に帰ったときのことについてお聞きします。

後ろで叫ぶ声がありました、その自分の小屋の裏に道がありまして、その道で相当大きい声で叫んだので、何事かと聞いたたら、朝鮮の人に聞いたら解放だと、その解放の言葉すら知りませんでしたけれども、よく説明してくれました、その人たちが帰るときに、私も連れて行ってくれということ、引き揚げて帰って来ました。

87

家に帰ったら、家族の人たちはいましたか。

お父さんとお母さんが、もう亡くなられておりませんでした。

(以上 田中なほ)

88 弟さんは家にいましたか。

弟は身寄りが無い、おばのところに、お母さんの
キョーだいと思ひますが、そちらのほうに身を
突可せておりました。

89 お父さん、お母さんたちの話は弟から聞きましたか。

弟は幼か、たために、姉ちゃん、もう父ちゃん、母
ちゃんの死んだよ、泣き叫んでおりました。

90 弟さんにはあなたがどい何をしてたかといふ話はし
ましたか。

弟にはまともなことは申し上げられなくて、金持
ちの家に行つて金もけののために働いてきてまし
たと、二いいふに弟に言ひました。

91 いやあ韓国に帰つた後どのようにやこ生活してました

裁 判 所

か。

可の畑も田もありません、ソウサクシヤもなつか
ったものですから、出稼があるいはその日その
日日雇い人夫になりまして金持ちの家の畑、
田に行つて草取り、そいひうことをして生計を
立てておりました。

92

結婚はしたんですか。

ある女性の紹介でそいひうの野良仕事、畑
の仕事ばかりするよりかお嫁さんに行かなく
いかと言われまして、大分高齢者でしたけれ
どもその方と結婚いたしまして、その方が年
を取つたために間もなく亡くなりました。

93

最初の夫は亡くなって、それからどうしましたか。

そこには息子さんがおりまして、お父さん亡くな
って間もなく、あんたもう用がないから出ていき
なさいと言われて、その家を出ました。

94

その後どうしましたか。

それからしばらくまたある金持ちの家で少し加
勢をし、そこで働きましたけれども、またお嫁に
行かないかという話ありまして、現在住んでいる
光州、今のおじいさんになりまして、御主
人ですけれども、そちらのほうに嫁ぐようにな
りました。

95

前の御主人さんと今のお主人さんと、それと水にあなたが慰
み女婦をさせられていたことを話しましたか。

前の夫には言っておられません。で、現在の夫は余

りは、きり開く方じゃないので裁判が何なのか、何をしてるかとよく分からなかった、たそいんです。で、現在は裁判に行ったり日本に渡ったりするといふことどうすうす現在の御主人を知っておりませう。

96

あなたは今お子さんはいらっしゃるか。

子供はもうけられませんでした。前の夫から今この夫からませう。

97

子供ができないことを理由にお医者さんに診てもらったことありますか。

お医者さんに診ていただいたとき、子宮が曲がってしまつたので、もう子供はできませんといふことでした。

98

今日の生活はどうやってますか。

今日の御主人は八四歳の高齢者です、もちろんです事はできません、国の補助と申しまして生活保護のようなものをですが、一五万ウオンほど頂いて生活を細々とやっております。

99

その生活保護は生活はやっていけてますか。

年を取るから少量でも間に合うくらいでいかにこゝろにかぎりぎりの生活をしております。もしも一人増えて三人だ、たらとてまじやないけれど皆飢え死にすると思っています。

100

あなたが慰安婦をさせられていたことに対して何か補償を受けたいことがありますか。

慰安婦のイリュウ金のようになものではないか、五。

裁 判 所

。万ウオンを換ちようだった、それは
 ずっと今まで生活してくる中での借金できれいに
 それで返済することはできませんでした、もちろん残り
 ません。

101

それはどこから、だからもう、たまたまのひですか。

韓国の国から、韓国の政府から頂きました。

102

現在のあなたの健康状態はどうですか。

もう健康という感じいやございませぬ、毎日毎
 日痛みと闘っている状態、今も頭が突き刺すよ
 うに痛い、一本あちこちが全部痛んで仕方
 ありません。

103

今あなたが日本政府に對して言いたいことがありませんか。

日本政府にお願したいことはやはり補償金と

い、い老のを絶対わたしにちよーだいししたいと思
 いませう。わたしも人並みに服を着て、一ぺんはい
 い服を着てみたい、び思いきり薬を買って治療を
 したい、それから傷も早く治したい、そーい、い、と
 ころにその補償金を充てたいと思ひます。死んで
 しま、たんでは可にもなりません。処女を奪われ
 て一生を台なれにせしませ、た私にあちらからこ
 ちらから幾らかずつ補償金とか援助金とか頂
 いた、これには無意味です、わたしの一生はそれ
 では代えられるものではございません、くれるな
 らまともな補償金が必要です、わたしはル
 ンペンイヤゴザいません、あ、ちからこ、ちから
 ちよーだいしたくありません。

裁

判

所

104

いやああなたにとつて戦争はもう終わつてないわけですね。
補償金などちやんと補償がない限りはわたれに
はまだ戦争は続いっております。

原告ら 代理人(山本)

105

先ほど一九一八年生まれとおっしゃいましたが、これは戸籍簿
上のことですか。

ちよつとは、ギリギリもうもう頭が転倒して分かりませ
せん。

106

おばさんから順徳さんの年齢にフツと違ふことを聞いたこと
とありませんか。

一八歳だ、たけど満むおばさんから聞いた一七歳
というところが分かりました。

107

おばさんの言ひはほんとはもう一つ若か、たとい言ひますね。

一歳若いということです。

108 じ、おぼさんの話が本当だと上海に連れこいかれたとき満一七歳だったというこゝとびすね。

そのとおりです。

109 それから上海で順徳さんが入れられこいた小屋の様子なんですけれど、その小屋は壁は何でこきこいましたか。

何かかますのよゝな木のび、かぎに、外が見えないうぐらゝい作こありました。

110 かますといゝのはむしろのよゝな木のびですか。

そゝびす。

111 屋根は何でこきこいましたか。

秋のよゝな木の枝で編んびや、た木のびすか
ら傾斜がなくこ雨が降、たらもろに落ちこく

裁

判

所

るという状態でした。

112 萩の木を編んで作った屋根という事です。

はい。

113 床は何びできていますか。

一番下は枯れ葉を敷きまして、その上にござを

敷きまして、そのござの上に軍用の毛布を敷きまし

た。

114 広さはどれくらいのの。

二人がやっと寝られるくらいの広さしかありま

せんでした。

115 先ほど小屋の絵を見てもらって、たんですが、あの絵はかいの

はだれだ、たか覚えていますか。

山本先生からかいていただきました。

116 李弁護士が聞いたと思ひうけずけれども。

よく分かりませぬけれども、99分先生じやないかと
思つておりました。

117 わたしの事務所で話を聞いたときにかいたものですね。

そこでもちよつと気が転倒してぢれがぢれか
石窪
忍ができない状態です。

118 話をしながらそのとき、かいてもらつたわけですな。

どうもわたしはそのころは、きり分かりま
せん。

119 あなたの話に出くるミヤザキという人のことなんです
が、最初三日間そのミヤザキという人の相手をさせられ
たという事ですけれども、このミヤザキというのほど
ういゝ人ですか、軍人ですか。

軍人さんです。

120 どんな階級の人か分かりませんか。

星が三つあるので偉い人だと思います。

121 高い階級の人だということですね。

(うなずく)

122 その後でたくさん来た兵隊たちよりも高い位の人だとい
うことですか。

その方が一番偉い方でした。

123 あなたはそのミヤザギという人から一緒に日本に行こう
と言われたことはありませんか。

ミヤザギさんから、ちようど日本に帰るときいや
なかつたかと思いますが、よか、たら日本にわた
しと一緒に行くことと、まあ言えば二番目の奥さん

のよいな格好になると思いますけれども、さうい
うことでロンビラれました。しかし私はお父さんと
お母さん、自分の郷里に帰りたくてしようがなか
ったから、それはお断りいたしました。

124
二番目の奥さんみたいなものになるように誘われたとい
うことですか。

極端にさうならおめかけさんびす、これは韓国に
来て聞いてみたらそれはさういっておめかけさんと
いふことがわかりました。

125
これか~~ら~~ちよつと失礼なことをお聞きするので、もし答える
のが嫌だつたら嫌だと言ふこともござい。

さうい。

126
ミヤザキといふ人から最初三日間相手をさせられて、その

後たくさんの兵隊の相手をさせられたと聞いて、
ども、そのとき順徳さんは抵抗しようとしなかつたんですか。

取っつかれて語りたくありませんけれども、最初に来

たときに寝なさいというところで、相当抵抗したと

言いました。いや、とともそんなことではなかつたこと

で相当狭い部屋の中を逃げ回ったんです。いや、怖

がることはいないというところで、だんだんだんだん近

づくにつれて抱きつかれました。後に服を脱ぎましたと

い無理矢理に倒されまして、それがめんど

りな感じになつてしまいました。

127
それはミヤザキという人が相手のときのことですか。

最初の二つです。

128
ほかの兵隊に対してはどうですか、抵抗しましたか。

129

ミヤザキさんが出た後はもちろん兵隊さんが来
 まして同じようなことを、二回三回行為に出まし
 た。出たときにはもう紳士風いやなくて頭をける、
 殴る、怖くなつて仕方ないから言ひいことを聞か
 ようになりました。本当に恥づかしい話です。
 ミヤザキといふ人は暴力を振るわなか、たけど、ほかの兵
 隊は暴力を振る、たと。

ミヤザキさんの場合には紳士的に怖がることなはい
 よ、ないよと言つてたんだんだん落ち着かレ
 てる。結果的にはなりましたけれど、ほかの兵
 隊の場合には時間もなか、たせいかわらなはいけ
 らぬ。暴力が先と、言ひいことを聞かなければ相
 殺しあつた。

裁 判 所

130

川貞徳さんは連れてこられたときに生理はありましたか。

上海に来て二〇歳くらいになつて初めてありました。

その前はございませぬ。

131

生理のときにも男の相手をさせられたたんびですか。

そのとおりです、要求されました。

甲第四号証を示す

132

これ、わたしが初めて川貞徳さんとお会いしたときにわたしの一
者に行つたカメラマンが撮ったものたんびですけれども。

人の知前とか顔は知らないけれども撮りました。

133

カンゼリ白雲会館（ヘゲンフエガン）という食堂で撮ったと
思ふんびですけれども。

.....

134

先ほどちよつと分かりにくかつたんびですけれども、二の一枚目

の軍真におなかには大きな傷がありますね。

間違いない、とてびす。胸をけり上げたとき、受けた傷びす。

135 先ほどもその話が出たにびすけれども、だれがけり上げたにびすか。

わたしと約束してほかに取るなと言ったのに、なぜ取ったかという二とび無茶苦茶されまして、気絶をしましてしまいました。

136 その相手なんにびすけれども、兵隊びすね。兵隊びす。

137 日本人びすか。ええ、日本人びす。

138 将校びすか、兵隊びすか。

兵隊さんという二とび、どれだけの位か分かりません、や、ほ、ゲートル巻いて。

139
どの兵隊が来るという約束をしたのにはあなたがほかの人の相手をしていたという二とび腹をけらぬわけですか。
そのとおりです。

140
二の一枚目と二枚目の写真におなか一杯大きな傷が残ってるとびですが、二枚はけられ破れたとびですか、おなかは。

最初はという目茶苦茶な二なか、たけど三日ほどたちましたらば歯菌が入りました。この二の二たしました、どんどんどんどんとゆから大変なものの二。

141
軍靴という軍人の靴でけられた傷が此の二とび、二とびですか。

そのとおりです、軍靴でけられたんです。

142 三枚目の写真なんですが、腰の後ろに横向きに傷がある
んびすね。

真ん中は深く入ってるので傷がいらず、両方だけ
傷がいってました、へっんだところはいかない、出
たところだけが切れました。

143 このズボンの糸の真ん中のところに見えるのが傷跡だとい
うことびすね。

そのとおりです。

144 これが日本刀で切られた傷だとい、うことびすね。

兵隊さんの刀でした。

145 おなかをけり上げられたのと同じときびすね。

その人です、けった人が背中も切りました。

146

それは切られたんじですか、刺されたんじですか。

切、たんじですか、刺しておりません、切られま
した。

147

あなたは国に帰るときどうや、帰ってきたんじ
ですか、帰ってきたんじですか。

石炭を運ぶ貨車に乗せられました。

148

屋根があるんじですか。

屋根はございません。

149

何日くらいかか、たか覚ええますか。

五日くらいじゃないかと思います、よくは覚え
ておりません。

原告の代理人(山崎)

150

李順徳さん、あなたはあなたを含めた元従軍慰安婦のこ

について日本政府は最初民間の業者がどうした方々を軍
 とともに連れ歩いたことは分かっているが、調査しても
 果を出すことができないとか、当時の関係者から事情聴
 取したところ国は関与してなかったとか調査しても又カ
 したが分からず、どういふふうに日本国が元従軍慰安
 婦について関与していなか、たといふに言、たんび
 す、あるいは最近前永野法務大臣があなた方元従軍慰
 安婦のことを当時の公娼であつたなど言、たんびすけ
 ど、そのことを聞いてあなたはどう感じられましたか。

一采り話が長くなつて、わたしも長くなりましたけれ
 ども、どういふ政治的なレベルの話ちよ、と分か
 りません。

どれほどあなた方元従軍慰安婦を含めた強制連行され

朝鮮人に対し戦後日本政府は一切補償を可成して二
なかつたといふことについてあなたはどう思ふといふ事
か。

当然のことながら日本の政府は純情な素朴な
娘一人を台なしにしてしまつて、子をもう
けることもできなかつた世間で歩くことができ
ない状態にしてしまつたのは日本政府だと、当時
の軍である、ならば当然のことながら日本政
府は、いやあそれを補償したから、てわたれの体
は戻りませぬ、補償金を山ほど積んでおわたれ
のう、ふんは晴れるものぢなれば、かとい、て自
分の元の体にはなりませぬ、痛みもある、はいろん
な治療も現在受けておりませぬ、それびや、

えももれ拒否するとするならばわたしは情し人の前に行つて首を切つて目決したいと思つてます。

原告の代理人（山本）

152 順徳さん、五〇〇万ウォン受け取りましたね。

受け取りました。

153 あれは韓国政府が出したお金か、韓国人が募金で集めたお金か、それは知ってますか。

募金であつたのか政府かわたしはよく存じ上げませんが、もううんときに政府がやるんだからというように聞いただけ、募金とかそういうものほわたしはよくわかりません。

被告指定代理人（榎戸）

154 あなたが最初に男から声をかけられてその旅館に行くま

ご歩いご一時間くらいかか、たんびですか。

一時間かかりました。

155 歩いごる間ず、ごその男はあなたの手を引、張、ごいたんびレ
ようか。

最初は手を引、張、たんびですけれども、後には本人
を前に歩かしてごその男は後ろに歩いごいきました。

156 あなたが先を歩いごいたごいうことですか。

ごのとおりです。

157 ごいうふうに進むかごいうことを後ろから指示を^{され}て
いたんびレようか。

意外大きな道でしたからごそのまゝ道を歩きま
した。

158 どれから旅館に着いごからのことですが、ごの旅館には軍

人のような日本人が三人来たんですか。

三人来ました。

159 どの三人は上海に着くまでの間ずっとあなたたちのそばにいたんですか。

上海に着くまでずっと三人一緒でした。

160 汽車に乗るときはどいふふうに見張りをさせていたんですか。

まともな我々乗りましたから、前後ろからちやんと二人ついておりました。

161 訴状では日本人が九人いたといふふうになつてゐるんですが、三人が正しいんですか。

三人です。

被告指定代理人(稲葉)

162

上海に着いてから先ほど注射をうたれたというお話が出ましたね。

マ、キと同じ、証言したまふ、言、たとおりで六。六号をうたされたました。

163

どの注射を、う、た人というのは日本人ですか。

三人おりました、一人は消毒ふいてやる人、一人は注射を刺す人、一人は後片付けるとい、うこと、三人おりました、二人は日本の方でした、一人は朝鮮の方だと思、ております。

164

注射を實際に、う、つ人は。

は、キリは覚えませんが、多分日本の兵隊が病気を、う、つらな、い、ようにする、ため、だから、日本人に代わりはないと思、います。

165

その方はお医者さんでしたか。

一人はお医者さんだが、その方は注射はうたないけれども、三人のうち。

166

それから上海までですが、食事はどこで食べたんですか。

兵隊さんが入り口まで持ってきて、カランカランと鐘を鳴らします。そして、それすぐ持ってきて食べしませぬ。そのときまた兵隊さんが来ておりました。なかなかな終りないもので、それから抜けられませぬ。終り、出たときにはもう食事はないと、ほんとに食べられなかつたことが度々ありました。ほんとにおなかすかれました。

167

どうすると食べるときは小屋の中で食べるというんです。

か。

もちろん中で食べました。

訴状では軍隊の食堂でするがというふうに記載され

てるんですが、これは間違いという二ことになりませんか。

いいえ、全然違います。

169

あなたは上海に連れてこられたのは満一八歳という二ことになりませんか。

は、きりはしませんが、おばから聞けば一七歳という

二こと、おれ一八歳あれば教えり一九歳とも思いうけ

れども、おばさんから満一七歳という二ことでした

のび。

170

か。

というするとその後郷里に帰ったのは何歳のころになりませんか。

一七歳であれば二六歳に帰ってきよしたから大体
七年から八年の間させられよした。

現在あなたは新聞などはお読みになるんぢすか。

全然びきよせん、学校行くておりよせんから。

御自宅にはテレビ等はあるんぢしようか。

あることはあるんぢすが、難しいことになると分
かりよせん。

(以上 田邊 直美)

山口地方裁判所下関支部

裁判所速記官

田中 なる

裁判所速記官

田邊 直美

[→HOME](#)